



逆瀬川 あゆみだより

NO.223 2026.2

社会福祉法人

聖隷福祉事業団

逆瀬川あゆみ保育園

宝塚市逆瀬川 2-2-8

TEL0797-77-0415

寒さが厳しい2月ですが、無理をせず外遊びを楽しみながら、春の訪れを待ちたいものですね。自園の子育て支援担当の職員が、毎月「ぶどうの木」というお便りを地域の方向けに作成してくれています。そのお便りに、興味深い文章を載せていて、内容を確認していた際、数人の職員との意見交換になりました。少しご紹介したいと思います。

『赤ちゃんの泣き声アプリ』について、テレビ番組で取り上げていたそうです。内容は、事前に赤ちゃんの泣き声を録音しておく、泣いた時に何が理由で泣いているのかを知らせてくれる、というものでした。そのアプリを開発した方は、コロナ禍を経て、産後うつの母親が、4人に1人へ増えているという状況から、そのストレスの大きな理由である赤ちゃんの泣き声をアプリを使用することで、少しでもストレスを減らし、育児のしんどさを取り除きたいという思いから開発されたという内容でした。昔人間の私には、到底、想像できないことだったので、目から鱗の感覚と、赤ちゃんが泣いていると、「おなかがすいたのかな」「おむつが濡れて気持ち悪いのかな」「抱っこを求めているのかな」などなど、わからないなりに、あれこれ考え、日々関わっていく中で、予測がついていくようにもなり、「かわいいな」という愛情も増していくのでは・・・と知っている私は、なんとも複雑な気持ちになりました。

子育ては、本当に大変です！子どもは自分とは、別人格なので、本来思うようになるはずもなく、何もかもわかるはずはないのに、わからないことがいけないような・・・そんなところがベースにあるのかも知れない・・・と感ずることもあります。

私達の仕事もそうですが、ひとりひとり子ども達は違います。それも会話ではなかなか読み取ってあげられない年齢の子ども達の指さしや行動、気持ちを予測して、関わってみる・・・の繰り返しです。「どうしたらいいのだろう？」と悩むこともしばしばで、正解もわかりませんが、関わることで見えてくることがあるように思います。でも、その根底には「あなたは大切なひとなのよ」という思いを持っていたいです。

そして、すこし肩の力を抜いて、大人が子どもと関わることを楽しい、おもしろいと思えると、もっと子どもの心と繋がりがやすいのかもしれないね。

何事もそうですが、良い、悪いだけで決められるものばかりではありません。ひとつに頼るのではなく、使い方や頻度を考えることで、ストレスなく過ごせるのかも知れませんね。 辻田 紀子

❀ 2025年度、子ども達の遊びに目を向けることを大切にしてきました。

配信しているドキュメンテーションも、一日の様子をお伝えするという場合もありつつ、子どもの声を聴き、遊びの様子を追うことを心がけてきました。乳児さんの年齢では、遊びが継続するという事は、なかなか難しいですが、これからも子ども達のわくわくした姿や、面白い発想、園での様子をお伝えできたらと思います。

～たのしいつどい～

2月7日(土)『親子で遊びを楽しむ』を目的に、各クラスや園庭、すくすくルームを開放します。

いつも子ども達が遊んでいる環境で保護者の皆さんと遊ぶ子ども達の表情や姿はいつもとは違うだろうな・・・とは思いますが、ぜひ、子ども達が普段どのような玩具で遊び、どのように遊びを繰り返しているのか、一緒に遊びながら、いろいろ感じていただければと思っています。短い時間ではありますが、お子さんと一緒に楽しんでくださいね。詳細については後日お知らせいたします。

 2月の予定

3日 節分

7日 たのしいつどい

2・9・16・24日 礼拝

※ 1月24日(土)

宝塚保育学会に参加のため、家庭保育のご協力、ありがとうございました。

(お知らせ)

- ・皆様にクリスマス祝会でいただきました献金 24,880円はユニセフに寄付いたしました。
- ・3月の土曜保育の申し込みについてですが、3/28(土)は来年度にむけての全職員による年度末会議・研修となっております。子ども達の環境や保育についての話し合いと学びの場となっておりますので、家庭保育のご協力よろしくお願いたします。この日の予約に限りコドモンでの入力できませんので、どうしても家庭保育が難しい方は事務所に声かけください。



お誕生日おめでとう



2名のともだち

すくすく大きくなあれ!

雪よりも白く



「ヒソプの枝でわたしの罪を払ってください。わたしが清くなるように。わたしを洗ってください。雪よりも白くなるように。」 (詩編51:9)

宝塚栄光教会牧師 岩間 洋

地球温暖化のせいで、このあたりで降雪を見ることが年々少なくなってきましたが、それでも今年の冬は寒く、雪がちらつく日もありますね。雪のイメージは白くて純潔です。しかし、その雪よりも白いものがあります。それは、イエス・キリストによって罪が赦された心です。キリストは、今からおよそ2000年前にこの世に来られ、十字架につけられて死なれました。それは、まことの神様に背を向けて歩んできた私たちの罪のためでした。私たちは、きよい神様の前に等しく罪びとです。そのままでは滅びなければなりません。何か解決方法はあるのでしょうか。あります!キリストの十字架を信じれば、だれでも罪が赦され、きよい心にされます。そこには何の差別もありません。雪よりも白い心になっていただいて、喜びと平安をもって歩んで行きましょう。